

企業の枠を超えた データドリブンでの配送効率化事例

2025年1月27日

三菱食品株式会社
株式会社Hacobu

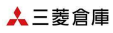
会社紹介

三菱食品 株式会社

事業内容	国内外の加工食品・低温食品・酒類・菓子の卸売、物流事業等
所在地	東京都文京区小石川一丁目1番1号
設立	1925年（大正14年）3月13日
従業員数	4,101人
売上高	2兆764億円
取引先数 仕入先	約6,500社
販売先	約3,000社（16万店舗）
物流拠点 国内	376拠点
海外	17拠点
物流パートナー	約400社
配送車両台数	約7,600台
パーパス	食のビジネスを通じて 持続可能な社会の実現に貢献する + サステナビリティ重点課題の同時解決

株式会社 Hacobu

事業内容	クラウド物流管理ソリューション「MOVO」シリーズと、物流DXコンサルティングを展開
設立	2015年6月30日
従業員数	約150名
ミッション	運ぶを最適化する
ビジョン	持続可能な物流インフラを創る
累計調達	約46億円

主要株主	ASKUL SONY  Daiwa House  豊田通商  JP HOLDINGS 日本郵政
	 野村不動産  HINO  BIPROGY  三井不動産 MITSUI FUDOSAN  三菱倉庫

三菱食品 と Hacobu の取組について

2023年4月 プレスリリース抜粋

動態管理サービス MOVO Fleet を 3,500台導入、データ活用で最適 配車の実現を目指す

三菱食品、Hacobu が提供する動態管理サービス「MOVO Fleet」を3,500台導入！

エリア最適配車を実現し、データ活用で積載率向上及びCO2排出量削減へ

株式会社Hacobu（ハコブ、代表取締役社長執行役員 CEO 佐々木 太郎、以下「Hacobu」）と三菱食品株式会社（代表取締役社長 京谷 裕、以下「三菱食品」）は、Hacobu が提供する動態管理サービス「MOVO Fleet（ムーボ・フリート）」を、三菱食品が事業展開する全国3,500台のトラックに導入し、本輸配送データを独自に活用して、車両積載率の向上及び配送効率の最適化などに向けた取り組みを開始することをお知らせいたします。

両社は持続可能な食のサプライチェーン構築及び物流の社会課題解決に向けて、データドリブン・ロジスティクスの実現を目指します。



2024年9月 プレスリリース抜粋

共同輸配送支援サービス MOVO X-Data を開発、三菱食品と実証実験を推進

Hacobu、共同輸配送支援サービス「MOVO X-Data」を提供開始！三菱食品と「物流2024年問題対策」実証実験を推進

9月10日提供開始！

共同輸配送支援サービス

ムーボ・クロスデータ

MOVO
X-Data



🔍 非効率な運行を抽出

💡 共同輸配送案の提示

🚚 車両削減の実現

データの力で物流課題を解決する株式会社Hacobu（ハコブ、代表取締役社長CEO 佐々木 太郎、以下「Hacobu」）は、新たな共同輸配送支援サービス「MOVO X-Data（ムーボ・クロスデータ）」の提供を開始いたしました。この新サービスは、運行データを基に非効率な運行や車両を抽出し、改善案を提示することで物流の効率化を図ります。さらに、拠点間、企業間を跨いだデータ連携を可能にし、効率的かつスピーディな共同輸配送の検討を実現します。これにより、物流コストの大幅な削減やCO2排出量の低減が見込まれます。

第一号プロジェクトとして、三菱食品とHacobuは実証実験を推進しています。本実験では、三菱食品が全国で運用する3000台のトラックを対象に、拠点間での共同輸配送を推進し、車両削減およびCO2排出量削減を実現します。将来的には、企業間における共同輸配送実現を目指します。

MOVO X-Data（ムーボ・クロスデータ）の特徴

MOVO Fleet等の配送データを活用し
拠点間・企業間でのスピーディ且つ効率的な検証が可能

主な改善パターン

短時間稼働コースの融合

近隣センターの短時間稼働コースを統合することで、車両台数削減

例：Aセンターの9-12時コースの配送終了後
Bセンターの13-16時コースを同車両で配送

長距離コースの
帰便の活用

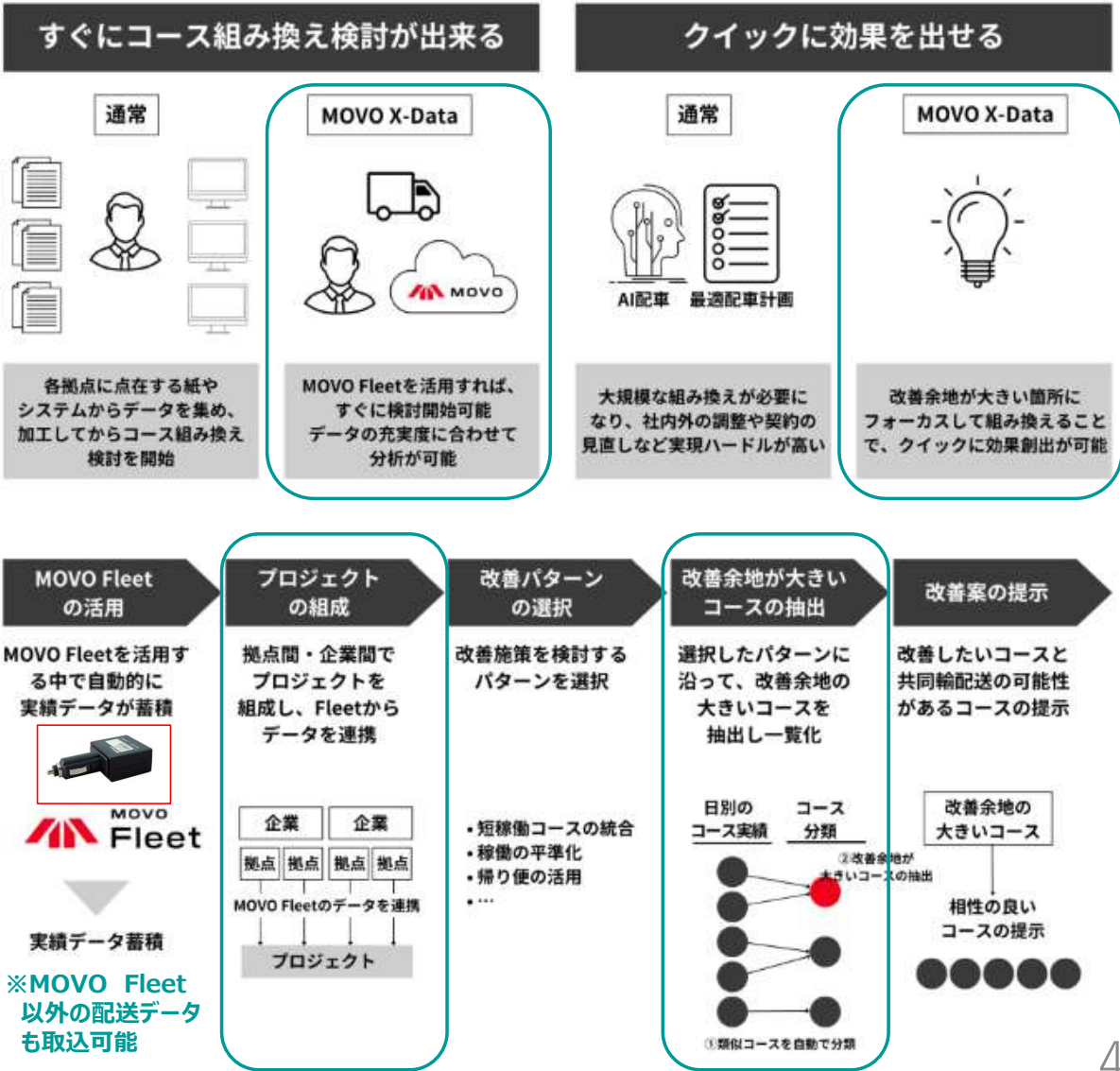
長距離コースの帰便を活用して、別コースの配送を行う事で、積載率向上・車両台数削減

例：A県のセンターからB県の納品先へ配送後
B県のセンターに寄り、A県方面へ配送

コース検索による
組み合わせ

新規案件など実績のない配送と組み合わせられる条件の配送コースを抽出

例：●曜日の●時頃にA県からB県へ配送しているコースがあれば新規案件を取り込める

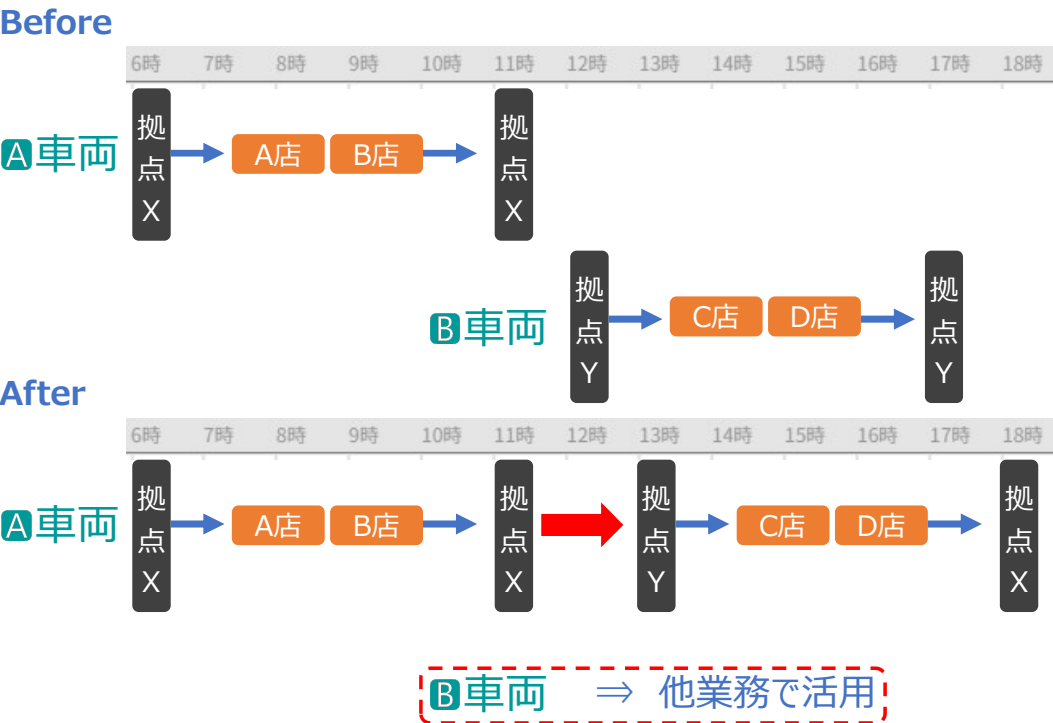


三菱食品の取組事例 ①

自社拠点間・企業間の配送効率化取組は、24年12月迄に約10件実行済、現在約20件が検討進行中

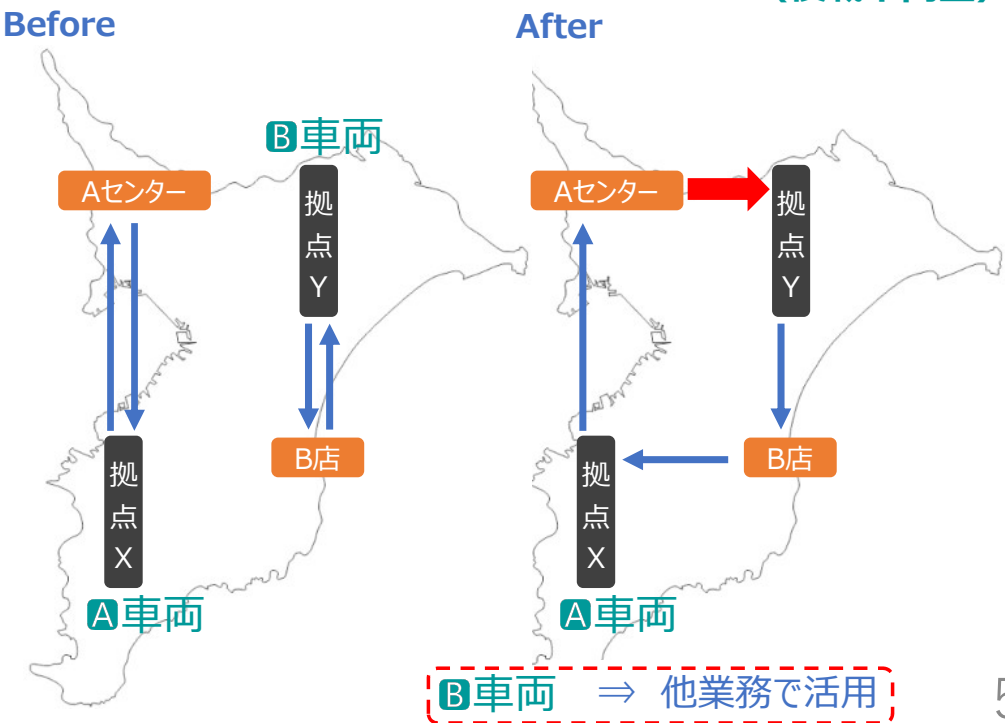
【自社拠点間】 短時間稼働コースの融合

拠点Xの午前みの短稼働コース と 拠点Yの午後みの短稼働コースを融合（台数削減）



【自社拠点間】 長距離コースの帰便の活用

拠点Xの県南部から県北部へのコース の帰便を活用し
拠点Yの県北部から県南部へのコースを融合（台数削減）
（積載率向上）

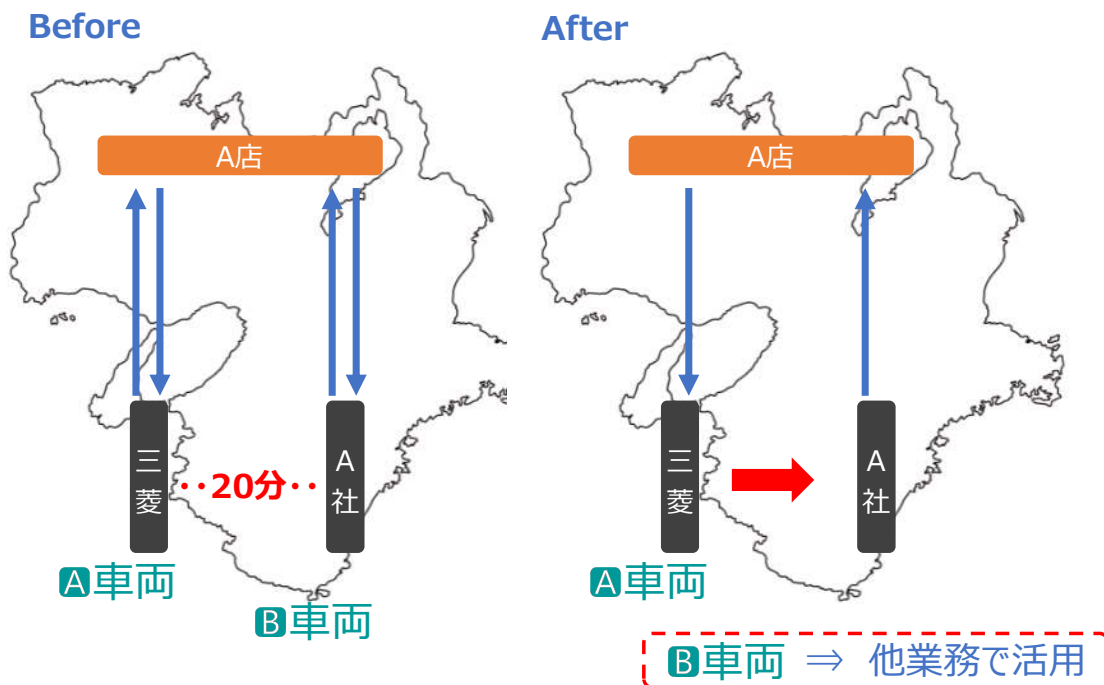


三菱食品の取組事例 ②

企業間の取組も開始中、MOVVO Fleet 以外の配送データの取込と検討も開始

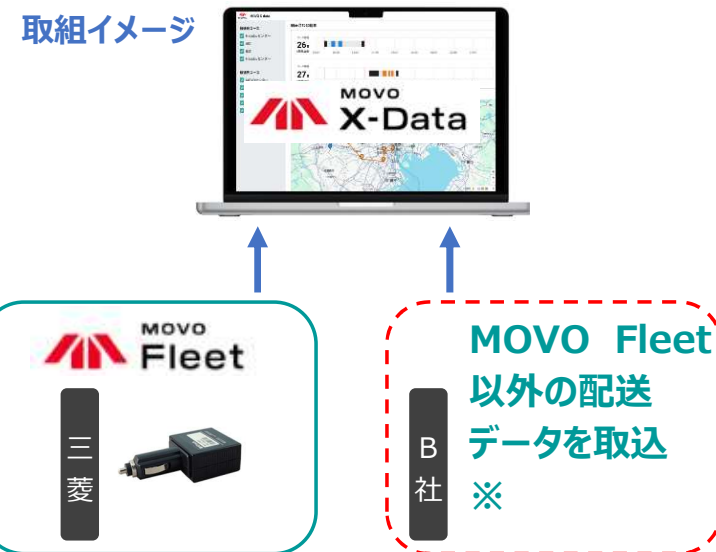
【A社との取組（関西）】 共同配送（混載）

MOVVO Fleet 導入済のA社と MOVVO X-Data を活用した車両融通を検討、同一店舗の共同配送を実現（台数削減）（積載率向上）



【B社との取組（関東）】 他配送データの取込と検討

MOVVO Fleet 未導入のB社の配送実績サンプル（エクセル）を MOVVO X-Data に取込し車両融通について検討、本格的な融通については、時間データが必須となる為、MOVVO Fleet を試験導入し、車両融通等による共同配送の検証を今後実施していく こととした



※MOVVO Fleet 以外のデータの場合、一部機能は使用できません

**今後もご賛同頂ける企業・団体の皆さまと一緒に
持続可能な社会の実現に向けて貢献して参ります**

ご清聴ありがとうございました

■ 本件に関するお問い合わせ

三菱食品株式会社 SCM統括物流DX推進オフィス

担当

倉田 yohei.kurata@mitsubishi-shokuhin.com

■ その他サービスに関するお問い合わせ・ご紹介

株式会社Hacobu

<https://hacobu.jp>